

指定管理者導入施設 管理運営総合評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

Table with 5 columns: 施設名称, 所在地, 指定管理者名, 利用料金制適用区分, 選定方法, 指定期間, 開始日, 終了日, 評価実施年, 設置目的, 主な実施事業等.

2 利用実績

Table with 8 columns: 利用区分等, 単位, H28年度, H29年度, H30年度, R元年度, R2年度, R3年度. Rows include 来館者数 (大人, 子ども, 合計), 館外事業参加者数, 多目的室利用.

3 事業収支

Table with 8 columns: 収支項目, H28年度, H29年度, H30年度, R元年度, R2年度, R3年度. Rows include 収入計 (指定管理料, 利用料金収入, 自主事業収入, その他), 支出計 (指定事業費, 自主事業費), 事業収支.

4 管理運営状況評価

Table with 2 columns: 有効性: 施設の設置目的の達成 (施設の目的や特性等に合致した管理運営、市民の平等な利用の確保、利用者の満足度等), 指定管理者による自己評価, 市の評価.

効率性：経費の縮減等の効果（経費縮減・収入増加の具体的な取組、効果等）

指定管理者による自己評価

ボランティアの方々の協力を得た運営を行うとともに、日常業務では節電や節水、裏紙、古ファイルの再利用など、エコオフィスの取組を積極的、継続的に実践している。また、施設の設置目的を達成するため、講座や講演会、企画展・特別展については、興味深い内容を取り上げ、幅広い世代の方々に来館いただけるよう企画内容を工夫し、多数の受講や観覧をいただいたおかげで、収入の増加につなげることができた。

市の評価

経費縮減の取組については、ボランティアの方々の活用や、日々の業務上のこまめな調整や管理による光熱水費の節約、消耗品費等の削減や再利用など、スタッフ一丸となってエコオフィスの実践に取り組まれている。また、ミュージアムの事業の根幹となる特別展示や講座、講演会においては、関心を惹くテーマや充実した内容で実施されており、受講者や観覧者の増加にともない、収入も増加していることも高く評価できる点である。引き続き、経費の縮減をお願いするとともに、削減の視点だけではなく、施設の設置目的をより達成できるよう、学芸業務のさらなる質の向上に向け、必要な経費は効果的に充当していただくことも含め、引き続き効率的な運営をお願いしたい。

適正性：適正な施設の管理運営（施設の管理運営の状況、自主事業の取組、安全管理・危機管理体制等）

指定管理者による自己評価

日常点検、法定点検、定期点検を行い、施設の維持管理と良好な環境整備に努めている。安全管理等については、今期の後半はコロナ下での事業実施となったが、市と協議をしながら利用者の安全を第一に、感染防止対策を徹底した施設運営を行っている。また、事故発生時の緊急連絡体制・事案については「危機管理マニュアル」に基づき、本社・館内で周知し、有事に備えている。自主事業では、事前に小学校の児童全員に配布したチラシの効果もあり、夏休み期間中の勾玉体験が大変好評で、令和2年度以降は多数の子どもたちや親子連れでの来館があり、ミュージアムを知っていただく機会、歴史に関心を持ってもらうきっかけとなった。春秋の歴史ハイキング、夏休み子ども学芸員プロジェクト、お正月イベント等、今後も恒例のイベントとして実施し、郷土愛を育む一助となるようできる限り幅広い世代に向けた事業を行っていききたい。

市の評価

維持管理に必要な各種点検を漏れなく実施されているとともに、修繕が必要な箇所や、異常があった際には迅速に市と協議を行い、施設の運営上また登録有形文化財として支障が生じないように、常に配慮しながら適切に対応いただいている。今期は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、感染防止対策についてはミュージアム内でも情報共有を徹底し、利用者の安全管理を第一に気を緩めることなく対応いただいている。各種災害に対する備えについても危機管理マニュアルのスタッフへの周知徹底や、スタッフミーティング時に定期的な見直しを行うなど、常に意識付けされている。自主事業では、勾玉体験が過去最大の参加者数となり、ミュージアムの認知度向上や歴史に関心を持つきっかけづくりに大きく貢献いただいている。その他の自主事業もコロナ禍の影響はあるものの可能な限り実施され、施設の設置目的の達成に向けて積極的に取り組まれていることを高く評価したい。引き続き、自主事業にも力を入れていただき、指定管理事業との相乗効果が得られることを期待している。

安定性：サービスの安定的な提供（事業収支の状況）

指定管理者による自己評価

今期はコロナ禍の影響を受けながらも、継続的な経費削減、より多くの方に関心を持ってもらえるような事業の実施を通して、わずかではあるが、4年連続で黒字の収支となった。今後も施設本来の目的達成に向け、安定的な運営と質の向上を図りながら、来館者から高い満足度を得られるよう努めたい。

市の評価

コロナ禍の影響を受け、令和元年度と令和2年度は総利用者数は大きく減少したものの、安定した収支となっている。感染防止対策を行いながら施設の設置目的を達成するための事業を確実に実施され、自主事業も含め、事業への参加者と収入の増加により4年連続で黒字の収支となったことは高く評価できる。引き続き、来館者の高い満足度を得られるよう、スタッフの専門性を発揮していただき、魅力的な企画と質の高い事業展開を期待している。

5 総合評価（指定管理期間全体を通じた管理運営に対する評価）

指定管理者による自己評価

令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の実施にあたって一定の制約を受けたが、生駒の歴史文化の普及啓発事業を可能な限り実施し、利用者の方々の高い満足度を得ることができた。

ミュージアムの学芸業務の軸である展示については、2期目の新たな取組の一つとして「市民の協力を得た展示の開催」を目標に掲げ、展示に関わる資料を広報で募集し、市民の方からの情報を得ながら特別展・企画展を実施する事ができた。地域に根ざした展示を行うことで、市民の生駒の歴史文化に対する興味関心を高めるとともに、新たな情報提供を得る事にも繋がった。

「生駒の歴史と文化入門講座」や「ミュージアム講演会」等の企画事業は、市民に定着してきており、いずれの回も一定の参加者数を維持している。今後、参加者の裾野がより広がるよう、さらに関心を持っていただける企画内容について検討していきたい。また、自主事業の「子ども学芸員プロジェクト」など、子ども向けの普及啓発事業においても、内容による参加者数にばらつきがないよう、子ども達に興味を持ってもらえるテーマ選びに努めたい。

今後もミュージアムのスタッフは、生駒の歴史文化をより多くの市民に伝えていくことや、地域の文化財を守り活用していく重要な役割を担っている自覚を持って、館長のもとで学芸員の育成、スキルアップを行っていきたい。

市の評価

2期目はコロナ禍という未曾有のリスクに見舞われることとなったが、事業を安易に中止することなく、感染対策を徹底しながらできる限りの事業に積極的に取り組んでいただき、一定の成果を上げていただいたことを高く評価したい。

2期目は、「平成」の終わりや市制50周年などの節目もあり、タイムリーなテーマで特別展示を複数年度、開催してもらったことも多くの来館につながったものとする。また、テーマが近代であったことから「市民の協力を得た展示」が実現でき、市民とともに創り上げる事業によって、より郷土愛が深まる機会となった。

ミュージアムの事業として定着している「生駒の歴史と文化入門講座」や「ミュージアム講演会」では、質の高い講師陣により常に一定の参加者数と満足度が維持されており、歴史文化の普及啓発や市民の郷土愛を醸成することに繋がっている。専門性の高いジャンルを子どもたちにも関心を持ってもらえるよう、また、わかりやすく伝えられるよう、「子ども学芸員プロジェクト」や「ホラー展示」など趣向を凝らした企画により、参加者が年々増加している点も高く評価できる。あわせて、出前授業への積極的な取り組みも高く評価したい。

アンケート結果では、来館が「初めて」と「3回以上」の方が約4割ずつを占め、新規来館者とリピーターがともに一定数あることは強みであり、引き続き、事業の企画力と手堅い運営をお願いするとともに、来館が少ない層にもアプローチできるような工夫ある取組にも期待したい。